



遠野
遺産

遠野遺産認定第27号 無形文化遺産(芸能) 2007年7月20日認定

所有者 青笹しし踊り保存会

推薦者 青笹町地域づくり連絡協議会



第17回
青笹しし踊り

青笹しし踊りの由来は諸説ありますが、慶長年間に山城(現在の京都府南部)から伝来したというしし踊りに、豊年踊り、神楽の山神舞が合体して生まれたといわれています。1964(昭和39)年に糠前、中下、中沢の三つの地域のしし踊りが統合し、現在の保存会を結成。その後も活発な活動が続けられ、1974(昭和49)年には岩手県の無形民俗文化財に、1978(昭和53)年には国の「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財の選択」に選定されています。その勇壮な舞を9月19・20日の「日本のふるさと遠野まつり」でぜひご覧ください。

MEMO

田 遠野まつり(9月19・20日)、六神

石神社例祭(9月23日)

問 青笹地区センター(☎@2836)

ホット
ひといき



稲荷穴まつりを取材。天気も良く、家族連れなどで大にぎわい◆参加者が足りないというので、豆腐の早食いに参戦。量は一丁半。スタートと同時に口いっばいに詰め込み、苦しい顔をキラリ。そう脇役です◆気が付くと、ほかの選手の豆腐はまだ半分。慌ててペースを抑えるが後の祭り。優勝してしまいました◆次は気をつけます。(小森)

梅雨明けが宣言されなかつた東北の今年の夏◆そんなモヤモヤを吹き飛ばすような、花巻東高野球部の甲子園での活躍でした◆遠野の選手も在籍しているということで、試合の戦況はもちろんのこと、ベンチやスタンドにも注目◆どんなにピンチの状況でもみんな「笑顔」の姿に、チームの勝利を支える裏方の大きな力を感じました。(馬場)